

科目名 (科目番号)	生命倫理 (時間割参照)	教員名	大越教夫、馬場智理、可知謙治	学科等	保健栄養	必修	履修年次	1
	曜日・時限等			時間割表参照	単位数	2		
	授業形態			講義	オフィスアワー	D302研究室		
授業概要	医療の知識・技術は常に進歩しており、それを取り巻く社会や医療に関する考え方も年々変わりつつある。保健栄養学分野の仕事は、食や栄養を通して人の生命やQOLに直接関係するため、生命倫理面でも適切に対応する必要がある。管理栄養士においては高い倫理観が求められている。この授業では、生命倫理の基本原則の確立や普及に大きな影響を及ぼした倫理綱領・倫理規程や参考となる歴史的経緯を学ぶとともに、先端医療の具体例により生命倫理の今日的課題についての考え方を解説する。こうした学習を通して、生命倫理の基本原則を修得し、高い倫理観の涵養に役立てる。							
目的・目標	目的:生命倫理の基本原則を修得し、高い倫理観の涵養に役立てる。さらに、医療専門職としての医療現場における生命倫理の重要性を理解する。 目標:①生命倫理の基本原則を理解できる。 ②生命に関する高い倫理観を会得し、今後の臨床検査学分野の学習に活用できるようになる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション・生命倫理の概略	到達目標:生命倫理の概略と生命の尊厳について理解する。 学習内容:オリエンテーションに加え、生命倫理の概略、生命倫理に関する歴史的実例を学習する。(大越)					
	2	ヒポクラテスの誓いと職業倫理	到達目標:「ヒポクラテスの誓い」が現代の医療倫理に与えた影響について説明できる。 学習内容:歴史上最初の職業倫理とみなすことができるギリシャ時代の「ヒポクラテスの誓い」および現在の医療倫理の関連を学習する。(馬場)					
	3	ニュルンベルク倫理綱領	到達目標:インフォームド・コンセントの概念がどのようにして生まれ、普及していったのか、その概略を説明できる。 学習内容:ニュルンベルク倫理綱領、インフォームド・コンセントの概略を学習する。(馬場)					
	4	患者の自己決定権の保障	到達目標:患者の自己決定権の保障することがなぜ重要なのかについて説明できる。 学習内容:「患者の権利章典」と「患者の権利に関するリスボン宣言」を学習する。(馬場)					
	5	がんと難病の告知・緩和ケア、安楽死・尊厳死	到達目標:がんと難病の告知の倫理的な問題点と課題について理解する。 学習内容:がん末期や難病の告知の現状および緩和ケア、安楽死・尊厳死を学習する。(大越)					
	6	医療事故、薬害	到達目標:医療事故、医療事故への対応、代表的薬害について説明できる。 学習内容:医療事故、リスクマネジメントや薬害の事例を学習する。(大越)					
	7	脳死と臓器移植	到達目標:脳死と臓器移植の生命倫理上の課題について理解し説明できる。 学習内容:脳死の定義、死の三徴候、臓器移植の必要性、日本と外国の移植医療の違い、及び臓器移植法を学習する。(診療放射線学科:椎名清和)					
	8	生殖補助医療と人工妊娠中絶	到達目標:生殖補助医療、人工妊娠中絶の倫理的な問題点と課題について理解する。 学習内容:人工授精、体外受精、代理出産等の生殖補助医療と人工妊娠中絶の現状を学習する。(大越)					
	9	出生前診断・着床前診断と遺伝子診断	到達目標:出生前や着床前診断、遺伝子診断との関連の問題点について理解する。 学習内容:出生前や着床前診断と遺伝子診断、その対応を学習し、自己決定権と生命倫理面の問題点について理解し説明できる。(大越)					
	10	環境、動物、研究倫理、特別な配慮を要する医療	到達目標:歴史的環境問題、動物研究、研究倫理、特別な配慮を要する医療について理解する。 学習内容:地球環境、公害問題、動物実験、研究倫理の概略を学ぶ。また、特別な配慮を要する、受診、治療、医療費等の課題を学習する。(大越)					
	11	ヒトゲノム解析と医療への応用をめぐる倫理的課題	到達目標:ヒトゲノム解析、遺伝子診断、発症前診断の倫理的問題点について理解する。 学習内容:遺伝子分析技術を用いた疾患の診断と対応について学習する。(可知)					
	12	終末期をめぐる問題	到達目標:がん治療とその限界、緩和医療の流れについてわかる。 学習内容:終末期医療とその倫理問題について学ぶ。(可知)					
	13	胎児・小児をめぐる諸問題	到達目標:子供の権利や自律性、胎児の社会的地位についてわかる。 学習内容:胎児・小児をめぐる倫理的問題について学ぶ。(可知)					
	14	医療情報の取り扱いと個人情報保護	到達目標:電子カルテの安全な利用方法についてわかる。 学習内容:医療情報の取り扱いと個人情報保護について学ぶ。(可知)					
	15	管理栄養士の職業倫理	到達目標:管理栄養士に求められる職業倫理の現状と課題について説明できる。 学習内容:管理栄養士に求められる職業倫理について学習する。					
成績評価の方法・基準	試験65%(1～10回)、レポート35%(11～15回) (対面、オンライン共通)							
教科書	生命倫理・医事法 第3版		塚田 敬義、前田 和彦			医療科学社; 第三版第2刷 (2023/2/10)		
参考図書	教養としての生命倫理 生命倫理と医療倫理(第4版)		村松聡、松島哲久、盛永審一郎 編 伏木信次、檉則章、霜田求編			丸善出版 金芳堂		
教員からのメッセージ	教科書及び教員が用意する資料を利用して予習・復習をすること。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							